

川上地区 地域計画 「元気・安心・地域づくり」



本書は「チイキのチカラ」（宇部市ウェブサイト）
でもご覧になれます。



チイキのチカラ QR コード

令和7年4月（改訂）

川上地区 自治会連合会・コミュニティ推進協議会

***** 目 次 *****

川上地区の現状と課題

- 1 地区の現状
 - (1) 地区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
 - (2) 地区の高齢化等の現状・・・・・・・・ 2～3
 - (3) 川上地区暮らしのアンケート・・・・ 3～5
- 2 地域計画策定及び改訂の経緯
 - (1) 地域計画の策定にあたって・・・・・・ 5
 - (2) 地域運営組織と川上地区地域計画の体系・5～6
 - (3) 地域計画の改訂にあたって・・・・・・ 6



川上地区地域計画

- 1 川上地区地域計画体系図・・・・・・・・・・・・ 7
- 2 川上地区地域計画 ～川上地区の明日のために～

安心安全な地域づくり

- (1) 自主防災体制の充実・・・・・・・・・・・・ 8～9
- (2) 交通安全、防犯など地区の安心安全のための体制の充実・・・・・・・・ 9～10
- (3) 赤ちゃんから高齢者まで暮らしやすく、居心地の良い環境づくり・・・・ 10～12



子どもを地域で見守り・育てる仕組みづくり

- (1) 地域と学校の連携強化・・・・・・・・・・・・ 12
- (2) 子どもの健全育成に関わる人材の育成・・・・ 12～13
- (3) 子どもと地区の大人が関わる機会の充実・・・・ 13



地域の健康づくり・保健福祉の推進

- (1) 独居の高齢者などを地域で見守る仕組みづくり・・・・ 14
- (2) 子どもから高齢者までの各年代における健康意識を高める取り組み・・・・ 14～15
- (3) 健康づくり活動に関わる人材の育成・・・・・・・・・・・・ 15
- (4) 参加しやすい健康づくりプログラム・・・・・・・・・・・・ 15～16

地域文化の継承・自然環境の保全

- (1) 地区のお宝を再発見する住民活動・・・・・・・・・・・・ 16
- (2) 地区住民に地域のお宝を広める取り組み・・・・・・ 17
- (3) 地区住民ができる自然環境保全の活動・・・・・・・・ 17



元気で活力あふれる地域づくり

- (1) 自治会、地区行事などの地域活動に関わる人材の発掘・育成・・・・ 18
- (2) 若い人も地区行事に参加しやすい仕組みづくり・・・・・・・・・・・・ 18～19
- (3) 地区行事などの住民への周知と他地区へのアピール・・・・・・・・ 19

川上地区の現状と課題

1 地区の現状

(1) 地区の概要

川上地区は、平成元年に上宇部地区と西岐波地区の一部が分離独立して誕生しました。宇部市の中央部に位置し、東は東岐波・西岐波地区に、西は厚東・藤山地区に、南は小羽山・上宇部・常盤地区に、北は二俣瀬地区と山口市阿知須地域に隣接しています。川上地区は蝶のような形をしており、面積は約 15.62 km²、人口は 7,512 人（令和 6 年 4 月 1 日現在）です。

江戸時代、山口県が周防・長門の二国に分かれていた頃には、南側、北迫（旧川上村）、ひらき台（旧宇部村）などは「長門の国」、請川、片倉など（旧岐波村）は「周防の国」に属していたので、当時の国境が地区内を通っています。川上中学校の校長室の中に国境の印があることは川上地区では有名な話です。



地理的には、西側に真締川の上流域があり、東西の丘陵地を縫うように沢波川が流れ、また県道西岐波吉見線や国道 490 号、市道南側請川線などの幹線道路が通っており、自然環境、交通環境に恵まれていることから、「北迫新町」「ひらき台（パークタウン）」や「東片倉（トーヨドタウン）」をはじめ、平成 10 年に新たに自治会が誕生した宇部新都市「あすとぴあ」などの分譲団地が点在しています。



近年、さらに交通網の整備や住宅地の開発が進んでおり、特に山陽自動車道「宇部インターチェンジ」の設置は、本市の玄関口の一つとして大きな役割を果たしています。

また、地域産業の高度化を促進するために、特定事業立地の受け皿となる中核的産業用地として整備された「宇部臨空頭脳パーク（下片倉）」、県内産業の振興を「ものづくり」の面から支援する試験・研究機関として設置された「山口県産業技術センター（あすとぴあ）」（平成 11 年 4 月）、市街地の浸水被害を防ぐ洪水調整と渇水時の農業用水及び河川環境を守る河川水の補給のために建設された「真締川ダム（高嶺）」などの重要な施設が地区内にあります。



(2) 地区の高齢化等の現状

◇ 川上地区全体の人口推移

各年4月1日現在

年	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	年少人口 14歳以下 (人)	生産年齢 15～64歳 (人)	高齢人口 65歳以上 (人)	高齢化率 (%)
平成13年	2,272	6,711	1,225	4,570	916	13.64
平成18年	2,726	7,662	1,422	5,078	1,162	15.17
平成23年	3,035	8,143	1,489	5,195	1,459	17.92
平成28年	3,217	8,118	1,274	4,897	1,947	23.98
令和3年	3,283	7,730	986	4,576	2,168	28.05

(宇部市年齢別住民基本台帳人口・地区別住民基本台帳人口より抜粋)

この表から見て取れるように、年少人口及び生産年齢人口の減少により、平成23年頃をピークに地区全体の人口は減少に転じています。一方で、65歳以上の高齢人口は増え続けており、川上地区の高齢化率は令和3年で28.05%となっています。宇部市の高齢化率33.39%と比較すると低くなっていますが、川上地区の高齢化率は20年間で14.4ポイント上昇しており、高齢化は確実に進んでいる状況です。

また、人口が減少している一方で世帯数は増加し続けており、核家族化や高齢者のみの世帯、独居高齢者の世帯が増加しているという問題が背景にあります。

◇ 川上地区の自治会別人口・世帯数の状況（令和6年4月1日現在）

自治会名	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	14歳以下 (人)	15～64歳 (人)	65歳以上 (人)	高齢化率 (%)
ひらき台	548	1,182	110	572	500	42.30
南側	155	317	45	163	109	34.38
川上団地	76	155	13	67	75	48.39
北迫新町	427	967	118	435	414	42.81
北迫アパート	19	53	14	39	0	0.00
北迫	105	220	18	108	94	42.73
高嶺	139	185	4	79	102	55.14
男山	38	61	4	24	33	54.10
上請川	53	96	7	46	43	44.79
下請川	36	71	2	41	28	39.44
ニュータウン請川	19	68	7	60	1	1.47
上片倉	57	99	6	49	44	44.44
下片倉	288	622	120	366	136	21.86
西片倉	147	336	48	168	120	35.71
東片倉	180	360	18	150	192	53.33

自治会名	世帯数 (世帯)	人 口 (人)	14 歳以下 (人)	15～64 歳 (人)	65 歳以上 (人)	高齢化率 (%)
ハーモニーヒルズ	275	694	64	520	110	15.85
あすとぴあ	753	1,971	286	1,438	247	12.53
牛明	20	50	6	36	8	16.00
川上区外	2	5	0	5	0	0.00
川上地区全体	3,337	7,512	890	4,366	2,256	30.03
宇部市全体	79,873	157,508	17,868	86,183	53,457	33.94

自治会別・年齢別（令和6年4月1日現在）の人口分布の中で、新興分譲団地である「あすとぴあ」「ハーモニーヒルズ」「ニュータウン請川」を除く高齢化率を試算すると39.72%となり、宇部市の33.94%よりも約6ポイント高い水準であり、決して高齢者が少なく働く世代が多い地区とは言えない状況です。

また、分譲開始から長い年月を経ている「ひらき台」「北迫新町」「東片倉」などの団地では、少子化問題も深刻で川上小中学校の児童・生徒数も年々減少しており、子ども会活動の停滞の要因となっています。

(3) 川上地区暮らしのアンケート

川上地区が「誰でも安心して住み続けられる地域、住んで良かったと思える地域」であり続けるために、住民の困りごとなどについてアンケート調査を実施しました。

調査概要

調査時期：令和6年6月1日～6月30日

調査方法：各自治会を通じてアンケートを全戸配布

調査世帯：高嶺自治会・区外を除く川上地区：3,196世帯（住基上）〈実配布世帯：2,543世帯〉

調査内容及び結果

【問1】 あなたのお住まいの地区を記入してください。

高嶺を除く、17自治会全てから回答。回答率(住基上世帯):31%・(実配布世帯):39%

【問2】 あなたの世帯の年齢構成を記入してください。

一番多いのは「高齢者だけの世帯」:344世帯(34.7%)＊内、独居高齢者:111世帯(11.2%)

【問3】 川上地区の住みやすさについてお聞かせください。

「住みやすい・どちらかといえば住みやすい」で834世帯(84.1%)

「どちらかといえば住みにくい・住みにくい」も134世帯(13.5%)ありました。

【問4】 お住まいの地区で暮らしていて不便（不満）に感じていることを教えてください。

交通関係(買い物・病院が遠いを含む)の不満が59%、自治会活動を含めた住民の人間関係が21%で多く、空き家や野良猫、草木繁茂、不法投棄など環境問題もありました。

川上地区 暮らしのアンケート

少子高齢化、社会福祉費の増大、人とのつながりの希薄化などが問題となっている現在、川上地区が「誰もが安心して住み続けられる地域、住んで良かったと思える地域」であり続けるために、住民の皆さんの困りごとが何かを調査し、その対応をどのようにしていくかを地区全体で考えていただくためのアンケートを実施したいと思います。併せて、以降、特定自治会を対象に実施していた賛助支援に関する関係の取組がなくなりますので、御座います。お手を合わせますが、ぜひとも本調査をご理解いただき、アンケートへのご協力をよろしくお願い致します。

※ご記入いただいたアンケートは、6月30日までに、調査をお問い合わせし、調査方針についてお話しして、お住まいの地区の自治会会長や副会長等に御覧ください。

※調査が終わりましたら、地区の賛助会等で調査にご協力ありがとうございました。

令和6年6月1日

アンケート実施者：川上地区社会福祉協議会、川上地区自治会連合会、社会福祉法人宇部市社会福祉協議会
アンケートに関するお問い合わせ先：川上ふれあいセンター 電話 0836-35-1150

【問5】 あなたは困ったときに、相談できる人はいますか？それは誰ですか？

「いる」と回答した世帯が91%で、相談する相手は家族が67%、ご近所が21%でした。
しかし、79世帯(8%)が相談できる人がいないと回答したことも注意が必要です。

【問6】 日常生活で困っていることはありますか？ある場合、何に困っていますか？

「ある」(15%)、「ない」(76%)

○今すぐ支援を受けたい…「草取り・剪定」(32世帯)、「災害時の支援」(28世帯)、
「移動支援(買物等)」(10世帯)、「ごみ出し」(9世帯)、「屋内軽作業」(9世帯)など
○5年以内に必要となる…「災害時の支援」(163世帯)、「移動支援(買物等)」(143世帯)、
「草取り・剪定」(99世帯)、「書類手続きサポート」(52世帯)など

【問7】 川上地区に移動支援(買物等)があれば利用したいですか？

「利用したい」(121世帯・12%)、「5年以内に必要になるかも知れない」(282世帯・28%)、
「利用しない」(527世帯・53%)

【問8】 移動支援でどこに行きたいですか？

「スーパー、ショッピングセンター」(407世帯・24%)、「病院」(315世帯・18%)
「銀行」(172世帯・10%)、「郵便局」(142世帯・8.3%)、「市役所」(101世帯・6%)など

【問9】 買物の頻度についてお聞かせください。

「週に2~3回」(54%)、「ほぼ毎日」(23%)、「週に1回程度」(16%)など

【問10】 川上地区での高齢福祉・子育て支援・障害福祉の取り組みについて自由意見

○高齢福祉

- ・免許証返納後の移動(買物・病院等)に不安がある。
- ・少しでも長く住み慣れた地で生活するためには、介護予防の取り組みが必要。
- ・高齢者のふれあいの場がほしい。病弱なのでサークル(元気体操等)に参加できない。
- ・老々介護や独居なので不安。包括支援センターなど相談できる所の認知度が低い。
- ・認知症対策として地域で共に生活、活動していけるつながりを持てるようにしたい。
- ・ごみ捨てや台風対策などの災害時に助け合い、支え合えるシステムが作れば良い。

○子育て支援

- ・川子連や地区行事で小学生が参加できる行事がもっとほしい。
- ・自治会に子ども会がないので、近所で小学校に通う子がどこにいるのか分からない。
- ・川上地区の子育てサークルはクオリティが高くてよい。
- ・子育てママの仲間がほしいが、平日だと参加できないので、土日などでも行ってほしい。
- ・子どもの遊び場が少ない。広場はあるがボール遊びができないなど制約が多い。

○障害福祉

- ・半病人(表面には出ずに理解されにくい病気)のサポートがない。

○その他

- ・高齢で自治会役員や自治会行事への参加が難しい。
- ・高齢者がボランティア活動で活躍されておりありがたい。若い世代も積極的に参加できる環境づくりが大切。
- ・道路、歩道、公園の状態が悪い。健康遊具を設置してほしい。

- ・住宅地周辺の竹や雑木、雑草繁茂で環境衛生上よくない。
- ・川上地区は坂が多く、ごみ出しや買い物など高齢者にとっては厳しい。
- ・バスの便など公共交通の便が悪い。これでは若い人が宇部から離れていく。
- ・銀行、郵便局がない。

<アンケート総括>

川上地区は、「あすとぴあ」や「ハーモニーヒルズ」、「ニュータウン請川」など比較的新しい住宅団地が多く、他地区に比べると高齢化率は低いですが、新興団地においても独居を含む高齢者のみの世帯が増えており、「今は大丈夫だが、5年先は不安」という意見も多く見られます。

地形的な特徴から「坂」の多い地区で、高齢になるほどごみ出しや買い物など支障が出てきているようです。加えて、バスや鉄道など公共交通の便も悪く、自家用車がなければ生活が困難な地区と認識されている住民が多く見受けられます。高齢者で免許返納後に住み続けられるか不安に感じているという意見が目立ちました。

2 地域計画策定及び改定の経緯

(1) 地域計画の策定にあたって

川上地区では、自治会連合会、社会福祉協議会、コミュニティ推進協議会の主要メンバーによる「元気・安心・地域づくり」に関する協議において、次のような地域課題があることが確認され、地域計画検討の進め方に関する説明会、地域団体から選出された委員による2度の意見交換会を経て地区住民への報告会を行い、平成29年2月に策定されました。

確認された地域課題

- 自治会連合会、社会福祉協議会、コミュニティ推進協議会などの地域団体において、一人が何役もこなすなどの人材の重複、後継者などの人材不足があり、将来の地域運営に不安がある。
- 地域や自治会の恒例行事や運営スタッフ・参加者が固定化しており、本来の交流、行事内容の見直しや人材発掘・育成ができていない。
- 多くの地域活動団体の主要メンバーの高齢化が進み後継者もないため、具体的で素晴らしい活動内容であるにもかかわらず、活動の継続が危ぶまれる。
- 自治会長が毎年交代する自治会もあり、任期が複数年の自治会では後任の自治会長等役員の人選に苦慮するなど、自治会の活動をスムーズに進めることが難しくなっている。

(2) 地域運営組織と川上地区地域計画の体系

川上地区地域計画を運営する組織は「川上地区コミュニティ推進協議会」とし、その所属する各団体等が「川上地区の明日のために」必要な5つの基本目標を達成するための施策・事業を実施する体系を整理しました。

5つの目標

- ① 安心安全な地域づくり
- ② 子どもを地域で見守り・育てる仕組みづくり

- ③ 地域の健康づくり・保健福祉の推進
- ④ 地域文化の継承・自然環境の保全
- ⑤ 元気で活力あふれる地域づくり

(3) 地域計画の改訂にあたって

川上地区計画「元気・安心・地域づくり」の基本目標に沿って、「川上地区コミュニティ推進協議会」に所属する各団体等が施策・事業を展開する中、令和2年からのコロナ禍を経験し、デジタル化や地区行事・会議の効率化など新しい生活様式に対応した地区運営が求められています。

また、宇部市公民館条例の廃止及び社会教育法の改正に伴う地域・学校の連携活動の見直しや宇部市個人情報保護条例の廃止（法律への一本化）に伴う自治会事務の改変等、地区コミュニティをめぐる環境は大きく変化してきています。

このような状況を踏まえ、令和6年実施した「川上地区暮らしのアンケート」における地区住民の困りごとなど「川上地区の課題」を再整理したうえで、解決に向けた方向性を打ち出して地域計画の見直しを行うものです。

再整理した地域課題

- 働く若い世代の自治会離れ、コミュニティ行事への参加者の減少
- 少子化及び若い世代の役員嫌いに伴い、子ども会・PTA活動に支障
- 自治会情報の収集が困難となり自治会運営に支障
- 地区コミュニティ所属の各団体の役員の高齢化、後継者不足
- 定年延長・再雇用等による役員の高年齢化に伴い、老人クラブの運営に支障



解決に向けた方向性

- コミュニティ行事等の魅力が働く若い世代に届くような取組の強化
⇒ SNS、宇部市ウェブサイト（チキのチカラ）、「川上だより」の充実 等
- 働く若い世代の地域活動への参加・参画を促す取組み
⇒ 「地域活動の日」の充実。「地域活動応援事業者」との連携強化
- 自治会入会のメリットをアピール
⇒ 災害時の「共助」の重要性を促す（自主防災会の活動強化・地域防災計画の充実）
- PTA や子ども会役員とのつながりを強化
⇒ 中学生ボランティアの充実、ジュニアリーダーの育成
- 高齢者が生きがいを感じるような行事の充実・強化
⇒ 三世代で楽しめるグラウンドゴルフやボッチャ、昔遊びの伝承など
- ◎川上地区の主要団体（コミュニティ推進協議会・社会福祉協議会・自治会連合会）の正副会長で構成する「川上地区推進協議会」を組織し、地域計画や地域の課題解決に向けた方向性を協議・調整 ⇒ コミュニティ推進協議会等の各総会で決定

川上地区地域計画

1 川上地区地域計画体系図



2 川上地区地域計画 ～川上地区の明日のために～

安心安全な地域づくり

(1) 自主防災体制の充実

① 地区防災訓練（災害体験訓練）の実施

② 自主防災会情報伝達訓練の実施

<計画項目等>

川上地区では「土砂災害警戒区域」が63箇所あり、特に土砂災害に対する地区住民への意識啓発が必要です。また、令和6年1月に発生した能登半島地震のように地震による災害はいつ起きるか分かりません。

まずは、自分の命は自分で守る「自助」が一番ですが、地区で助け合う「共助」が災害発生時には大変重要になってきます。

そこで、川上地区では「自主防災会」を組織し、具体的な被害状況を想定した防災訓練や防災に関する講演会など、効果的な訓練方法等について検討します。

また、川上地区自主防災会では「緊急連絡網」を作成しており、災害体験訓練と併せて情報伝達訓練を行うこととしています。

<取組事例等>

○ 平成28年10月に防災訓練として、東片倉河川公園において災害時の断水状況を想定し、山口県で初めて給水訓練を実施

○ その後も、コロナ禍で実施できなかった年を除き、災害体験訓練と情報伝達訓練を実施しており、

令和5年11月には川上小学校で地震時の火災を想定した「煙体験訓練」、土砂災害や浸水被害等を想定した「土のう作り・土のう積み工法」の訓練を実施



③ 防災倉庫の点検

④ 地区防災計画の改定

<計画項目等>

川上地区自主防災会は2か月に1回、防災倉庫の資機材の在庫数点検及び発電機の動作確認を実施しており、各役員が非常時にどのような防災資材があるのかを認識してもらうため、今後も継続して点検を実施します。

また、令和6年度に自主防災本部員及び各支部（自治会）で非常時の行動マニュアルとして活用できるよう「地区防災計画」の改訂を行います。



<取組実例等>

特定の自治会においては、市が開設する避難場所以外の避難所の設定や避難訓練、緊急連絡網の作成などを行っている自治会もあり、このような取組を地区全体に広めていきます。

(2) 交通安全、防犯など地区の安心安全のための体制の充実

① 交通安全

<計画項目等>

川上地区では、交通安全協会川上支部・民生児童委員協議会・自治会連合会・福祉委員会などが連携して、川上小中学校の児童・生徒の通学時の見守り活動を実施しており、子どもたちの安全のため今後も継続して実施します。

また、高齢者の死亡事故が増加している現状から、高齢者を対象とした交通安全教室や研修会などを充実させます。



<取組実例等>

- 登下校の交通立哨・見守り活動の実施（交通安全協会川上支部、民生児童委員協議会など）
- 小学校（3年生対象）自転車交通安全教室の開催（交通安全協会川上支部）
- 小学校仮入学時の交通安全教室の実施（交通安全協会川上支部）
- 春と秋の交通安全週間における啓発活動（合同キャンペーン）（交通安全協会川上支部）
- 高齢者交通安全教室の開催（シニアクラブ連合会）
- 見守り活動の実施（月2回：民生児童委員協議会）



② 防犯対策

<計画項目等>

自治会ごとに防犯灯の管理を行い、地区内の設置危険箇所等について、警察等関係機関と合同でパトロールを実施するとともに、地区の児童・生徒を不審者から守るための「子ども110番の家・旗」の活動を継続して実施します。

また、万引きや自転車盗など、青少年の犯罪防止につながる活動や、うそ電話詐欺などに高齢者が巻き込まれないような取組みを実施します。

<取組実例等>

- 街頭パトロールの実施（ふれあい運動推進委員会）
- 警察等関係機関と合同の地区内危険箇所パトロール（地区防犯連絡協議会）
- 子ども110番の旗の定期的な見回り（母親クラブ）
- 通学路の安全点検（川上小・中学校PTA等）
- 通学路の除草作業実施（環衛連川上支部・シニアクラブ連合会・川上小・中学校PTA）
- うそ電話詐欺など高齢者向け出前講座等の実施（まちづくりサークル、シニアクラブ連合会）
- 自治会単位で危険箇所に防犯灯の設置・管理



(3) 赤ちゃんから高齢者まで暮らしやすく、居心地の良い環境づくり

① 日頃から近所で助け合う人間関係

<計画項目等>

人とのつながりを築くために、だれでも参加でき、人と人が知り合う機会を増やしていきます。地区行事・イベント等は令和2年度から4年度にかけてコロナ禍により、中止を余儀なくされてきたため、令和5年度からは再度仕切り直して住民相互の交流のため、にぎわい創出に向けた取組みを進めます。

<取組実例等>

- 自治会単位で道普請（春・秋2回の雑草撲滅運動・空き缶拾い）を実施し、隣近所の顔が見える機会の創出
- 川上地区三大大行事（夏まつり・運動会・文化祭）を始め、敬老祝賀会やお楽しみ昼食会、また、シニアが主体のグラウンドゴルフ大会やまちづくりサークルの講座などを開催し、地区民が触れ合える機会の創出



② 日常生活の困りごとや居場所づくり

<計画項目等>

地区の全世帯を対象に、「暮らしのアンケート」を実施し、社会福祉協議会・福祉委員会・自治会連合会及び市社会福祉協議会や福祉事業者を巻き込んで、課題解決に向けた検討を話し合い、実現できることから実施していきます。

福祉委員活動により各自治会内の高齢者等の困りごとを「ふくし連絡票」などを活用し、相談できる機関につなぐなど、相談体制を整えて課題解決に向けた取組みを推進します。

<取組実例等>

○ 平成 28 年 11 月から「川上地区高齢者買い物支援等連絡協議会」で地域内交通の実現に向けた協議を開始し、平成 29 年度から「かたくら号」・「川上ふれあい号」の運行を開始
⇒平成 31 年からコロナ禍における集団感染防止の観点から
中断



- 令和 6 年 6 月に全戸配布により「日常生活におけるお困りごとアンケート」を実施。
- 自治会によっては福祉委員により「福祉委員だより」の手渡し運動を実施
- 自治会によっては高齢者のサロンを開設し、居場所づくりに取り組んでいる。

③ 地域と学校が関わる仕組みづくり

<計画項目等>

小中一貫教育のモデル地区である強みを生かして、学校運営協議会は小学校及び中学校独自のものとは別に、「川上小・中学校合同学校運営協議会」を実施し、児童・生徒、小中の教職員、学校運営協議会・社会教育推進委員会など地域も巻き込んで、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的な推進を目指します。

地区の三大行事（夏まつり・運動会・文化祭）を中心に、中学生ボランティアが積極的に参加しており、今後も生徒会と話し合いながらこれらの活動をさらに拡大していきます。

また、加入率が低下している川上地区子ども会育成連絡協議会（川子連）も中学生・高校生ボランティア（ジュニアリーダー）の協力により、キャンプや水泳教室、ドッチビー大会などの活動を継続していきます。

<取組実例等>

- 令和 5 年夏休み期間中に、川上中学校生徒会が主体で小学校児童も参加して、川上地区の課題（環境整備、史跡・景観、高齢化問題）について、小中学生で何ができるかをテーマに塾議を開催



- 川子連ジュニアリーダーは地区コミュニティの三大大行事への協力のほか、ジュニアリーダーが企画から運営まで行うイベントを市内の商業施設で開催
- 令和6年度の川上中ボランティアは、夏まつり68人、運動会21人、環衛連除草活動7人



子どもを地域で見守り・育てる仕組みづくり

(1) 地域と学校の連携強化

<計画項目等>

「子育てするなら宇部」「子育てするなら川上」と言われるように、赤ちゃんから幼保育園、小中学校、高校と子育て環境の充実に地域として取り組みます。

川上小中合同学校運営協議会では、その目標を「ふるさと川上を愛し、自ら未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成」とし、経営方針として「小中一貫による「川上型」地域連携教育の推進」を図っていくこととしています。そのカリキュラムには「川上地区探訪」や沢波川、地区内のスーパーマーケット等の見学なども組み込まれ、小中合同のあいさつ運動では地域の見守り活動においても実践していきます。

<取組事例等>

- 川上小中学校合同で「あいさつ運動」を実践（川上型地域連携教育カリキュラム）
- 子育てサークル「ちびっこの輪」の開催。運動会は小学校で児童（6年生）の手伝いのもと開催。（母子保健推進員会他）



(2) 子どもの健全育成に関わる人材の育成

<計画項目等>

「川上っ子」を地域で守り育てる思いを地域の大人がしっかりと持って、地区内でのあいさつ運動や見守り活動を実践していきます。

「ふれあい運動推進員会」では、街頭パトロールの実施や各種イベント等における青少年の非行防止、薬物根絶、インターネット・SNSの正しい使い方など青少年の健全育成に係る啓発活動を行うとともに、「放課後子ども教室」の事業として学校施設開放や農業体験など学校と地域の橋渡しを継続して実施していきます。

また、これらの活動が持続可能なものとなるよう、子ども会やPTA等の働く世代の方を協力員として会の活動に参加していただけるような体制づくりを行っていきます。

<取組実例等>

- 登下校時の交通立哨・見守り活動の実施（交通安全協会川上分会他）
- 年6回、土曜日夜間の街頭パトロールを実施
小中学校から青少年健全育成に向けたポスター・標語の募集・展示（ふれあい運動推進委員会）
- 子ども会行事（ペットボトルロケット飛行大会・水泳教室等）や体育振興会行事（フットボール大会）などと連携した学校施設開放事業の実施（ふれあい運動推進委員会）
- さつまいも苗植え・収穫体験の実施（ふれあい運動推進委員会）



(3) 子どもと地区の大人が関わる機会の充実

<計画項目等>

川上小学校主催の「三世代ふれあいフェスティバル」に伝統技術や昔遊びを知る地区の大人が参加し交流します。

コミュニティ三大大行事を始め、どんど焼きなどの文化行事、グラウンドゴルフなどの体育行事、敬老祝賀会や人権教育推進大会の作文など、地区行事に多くの児童・生徒が参加するような仕組みを構築します。

また、学校支援ボランティア（読み聞かせや家庭科授業の補助など）や学校行事（運動会、文化祭など）・学校運営に地区住民が関わる仕組みづくりも構築します。

<取組実例等>

- 三世代ふれあいフェスティバル（川上小学校）
- コミュニティ三大大行事や雑草撲滅運動などに川上中学校ボランティアが活動（各実行委員会・環衛連川上支部）
- しめ縄づくり、どんど焼き（餅つき、ぜんざい等）、三世代交流グラウンドゴルフ大会の開催（文化振興会・体育振興会・婦人部・シニアクラブなど）
- 敬老祝賀会・人権教育推進大会における児童・生徒の作文・標語の発表（地区社会福祉協議会・人権教育推進委員協議会など）



地域の健康づくり・保健福祉の推進

(1) 独居の高齢者などを地域で見守る仕組みづくり

<計画項目等>

地域課題を自治会内で協議して発足した北迫新町自治会の「お助け隊」「見守り隊」やひらき台自治会の「ほのぼのサロン」などの活動を継続するとともに、地区内の他自治会においてもサロン活動など開催に向けた地域支え合い会議を実施します。

地域で見守る仕組みづくりとしては、各自治会に1名以上選任されている福祉委員が各自治会にある問題や困っている人を気にかけて、民生委員や関係機関などに知らせる福祉委員活動の取組みを推進します。

また、サロン活動や相談窓口について、地区だよりや地区の行事、地区内店舗などで周知を図るとともに、健康づくりに関する研修や認知症サポーターの養成など、地域活動のサポーターを育成します。



<取組事例等>

- 地域課題について各自治会で協議を行う支え合い会議の成果として、北迫新町自治会の「お助け隊」や「見守り隊」、ひらき台自治会の「ほのぼのサロン」が始まり、現在も継続中
- 福祉委員活動の実施（「福祉委員だより」の手渡し運動など）
- 月1回の「いきいきサロン」（ひらき台・北迫新町・請川・東片倉自治会）の実施（健康測定や体操、薬や病気に関する知識、認知症や介護に関する講習など幅広く健康づくりのメニューに取り組みされている。）
- 「お楽しみ昼食会」「敬老祝賀会」の開催（社協・福祉・民生・婦人部・自治連）



(2) 子どもから高齢者までの各年代における健康意識を高める取り組み

<計画項目等>

子育てサークル「ちびっこの輪」や小中学校・放課後子ども教室等と連携し、子どもや

その保護者に対して啓発活動を実施します。また、地区だよりや各自治会のサロン、地区内にある店舗等において生活習慣病予防等の啓発を行います。

さらに、地区運動会や球技大会、地区グラウンドゴルフ大会、霜降山ハイキングなどの健康づくりに資する地区行事に多くの地区民が参加するよう、積極的なPRを行います。



<取組事例等>

- 子育てサークル「ちびっこの輪」における「生活習慣病予防」の啓発
- 自治会サロンやまちづくりサークルにおける「健康教室」の実施
- 運動会、初日の出を見る会の開催（コミュニティ推進協議会）
- 霜降山ハイキング、ソフトバレーボール大会、ソフトボール大会等の開催（体育振興会）
- 地区グラウンドゴルフ大会、シニア連スポーツ大会の開催（シニアクラブ連合会）
- ラジオ体操の実施（川上団地）



（3）健康づくり活動に関わる人材の育成

<計画項目等>

市健康福祉部や地域包括支援センター等と連携して、健康づくりや介護予防に関する研修や認知症サポーター養成等で地域活動のサポーターを育成します。

<取組事例等>

- まちづくりサークル等と連携して「認知症サポーター養成講座」を開催
- シニアクラブ連合会やまちづくりサークル、健康サポーターと協力して健康教室を実施



（4）参加しやすい健康づくりプログラム

<計画項目等>

健康づくりの運動分野について、シニアクラブ連合会や母子保健推進員、健康サポーター等地域の協力を得て、健康づくりや介護予防の取り組みを継続して実施します。

また、栄養分野は、宇部志立大学の受講者2名が中心で「減塩の取組み」を実施されており、この取組みを継続させます。

<取組事例等>

- 地区グラウンドゴルフ大会を年2回実施（シニアクラブ連合会・体育振興会）
- 川上散策（真締川ダム周遊路）と野草料理教室を開催（文化振興会）
- 栄養教室や食生活改善の啓発などを実施（食生活改善推進員・婦人部）



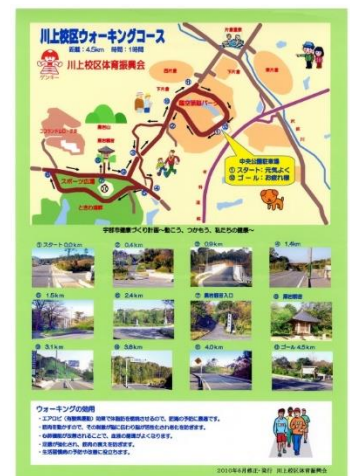
地域文化の継承・自然環境の保全

(1) 地区の宝を再発見する住民活動

<計画項目等>

地域の文化財や自然豊かなウォーキングコースがあることをPRし、ウォーキングやオリエンテーションなどのイベントを企画・開催していきます。

また、郷土史の興味・関心を深める取組みを行います。



<取組事例等>

- 平成22年6月に「川上地区ウォーキングマップ」を改訂（体育振興会）
- 平成28年度に地区のモデル事業として「頑張る地域支援助成金」を活用し、「沢波川沿線ふれあい事業」を実施（東片倉自治会）
（事業内容）
沢波川のホタルや四季折々の自然を楽しむような環境整備、ウォーキングコースを整備して健康づくりの拠点とするもの。令和元年からは「沢波川ミズベリングほたるまつり」を開催。以降、毎年東片倉自治会では「ほたるまつり」を実施している。
- 令和5年8月に宇部市環境衛生大会において、東片倉自治会が桜やホタルの名所として、その環境を守り続けるために継続的に行う清掃活動等に対し、「環境衛生改善模範地区」の最優秀地区に選定



(2) 地区住民に地域のお宝を広める取り組み

<計画項目等>

地区の文化財や豊かな自然など、地区のお宝情報を SNS (Instagram・Facebook) や「チイキのチカラ」(地域情報ウェブサイト) に掲載して地区内外に広く PR します。

また、川上小・中学校の「学校・地域連携カリキュラム」の中で、小学校では地区内の神社や沢波川(水辺の教室) 探訪、中学校は数班に分かれて「川上地域探訪学習」を組み込んで、地域のお宝に触れる機会の創出を図ります。



<取組事例等>

- 川上中学校 1 年生が「川上地域探訪学習」において、地区内の様々な史跡を見学したものを「川上の色々な史跡」として冊子に取りまとめ(川上中学校)
- 平成 14 年 12 月「歴史散策かわかみ～こころの里をみつめて」発行(川上郷土史研究会)
- 月 1 回の定例活動を実施(川上郷土史研究会)



(3) 地区住民ができる自然環境保全の活動

<計画項目等>

地区内の清掃活動(空き缶回収など)や環境美化活動(道普請、河川清掃など)を継続して推進します。また、霜降山登山口が地区内にあるので、地区行事として利用するとともに、以前のように周辺地区と連携して登山道の整備、登山(ハイキング)などで親睦を図ります。

<取組事例等>

- 通学路の除草作業(雑草撲滅運動)(環衛連川上支部)
- 東片倉ホタル祭りの開催(東片倉自治会)
- 花壇の整備(まちづくりサークル)
- 初日の出を見る会、霜降山ハイキングの開催(コミュニティ推進協議会・体育振興会)
- 自治会単位の清掃活動(空き缶回収)、道普請の実施



(1) 自治会、地区行事などの地域活動に関わる人材の発掘・育成

<計画項目等>

令和5年度からスタートした「地域活動の日」により、「地域活動応援事業者」の協力を受けて、まずは働く若い世代が地区行事に参加するよう働きかけます。

次に、地区行事のプログラムの企画・運営に関わる喜びを体感していただき、行事スタッフとして活躍の場を広げ、地区コミュニティの一員として育成します。

<取組実例等>

- 地区の三大大行事を中心に川上中学校の生徒がボランティアで参加
- 地区の三大大行事や市子連・川子連のキャンプや水泳教室などで中学生・高校生のジュニアリーダーが参加
- 地区内の「地域活動応援事業者」から夏まつり、文化祭のスタッフを派遣
- 夏まつりにおける協賛事業者の募集（令和5年度：53事業者）



(2) 若い人も地区行事に参加しやすい仕組みづくり

① 参加しやすい仕組みづくり

<計画項目等>

行事の企画段階から若い人に参画してもらえるよう声掛けをしていきます。

<取組実例等>

- 地区の三大大行事の実行委員会に中学校ボランティアの代表者が出席（川上中学校）
- 地区夏まつり、文化祭の子どもブースにジュニアリーダー（中高生）が参加（川子連）



② 参加しやすい行事内容

<計画項目等>

子どもにとって魅力のあるイベントを実施します。

学童期を過ぎた子どもたちでも楽しめるイベントを企画し、若い世代でも地域行事に参加できる仕組みをつくります。



<取組実例等>

- 三世代が参加するグラウンドゴルフ大会の実施（体育振興会・シニアクラブ連合会）

(3) 地区行事などの住民への周知と他地区へのアピール

① 住民への周知

<計画項目等>

地区だよりや個別にイベントのチラシの回覧、また、SNS（Instagram・Facebook）、宇部市地域活動紹介ウェブサイト「チイキのチカラ」などによりお知らせします。

イベント当日、広報車によりPR活動を行います。

<取組実例等>

- 毎月「川上だより」を発行し、全戸配布
- Instagram（kawakamihiroba）、Facebook（川上 みんなの広場）で地区行事等を紹介

② 他地区へのアピール

<計画項目等>

SNS（Instagram・Facebook）で投稿した内容が「チイキのチカラ」に掲載されることから、他地区の皆様にも興味を持っていただけるような内容で地区行事等を紹介します。

イベントについては地元紙（宇部日報など）でも取り上げてもらえるよう調整します。

☆☆☆ コミュニティ三大大行事（夏まつり・運動会・文化祭）☆☆☆



☆☆☆ 地区社協二大大行事（お楽しみ昼食会・敬老祝賀会）☆☆☆

